



the community shop...

円昭『e街プロジェクト』空間デザインコンペ 2015 Vol.2

enshow[®] Corporation

theme

ひとつどう街の
“Core Space” ~the community shop~

×

Caffe

key words-1

Core

×

community

このお店を中心に新たな人間関係や地域的な流行を発信する。

lifestyle

訪れた人の日常になんらかの変化や新しい趣味を提供する。

可変性

店舗が開店して完成ではなく、
季節・年月などによって表情をかえられるデザイン的な余白を残す。

愛着

訪れるお客さまにこのお店を選ぶ理由をもってもらおう。

theme

ひとつどう街の

“Core Space” ~the community shop~

×

Caffe

Core

×

community

単純な“流行のお店”ではなく
訪れることで新たな気づきや出会いがあり、
人々の生活にも影響を与えられるお店。
“ライフスタイルの流れ”の中心となる。

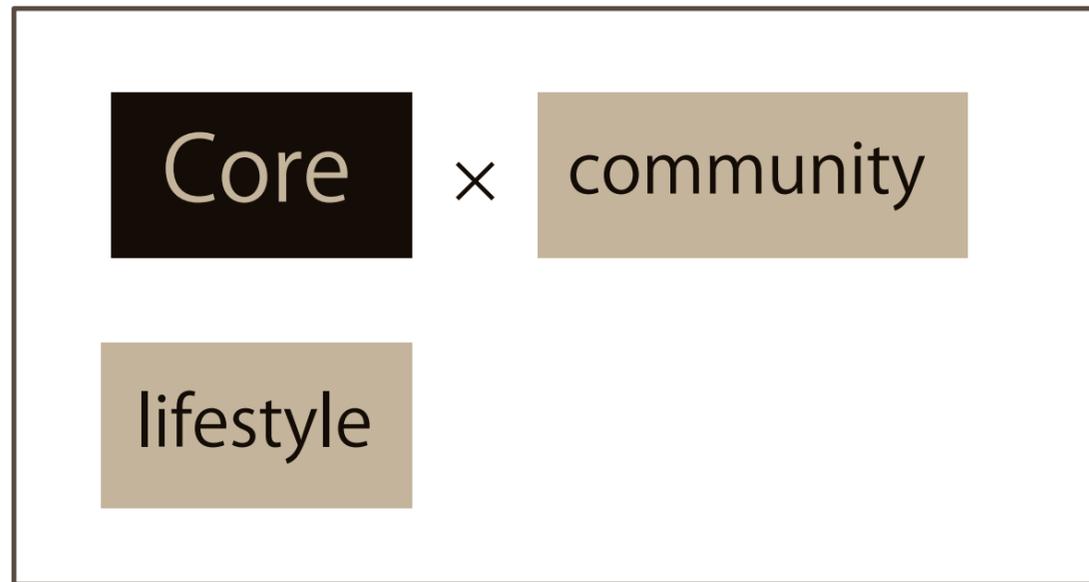
theme

ひとつどう街の

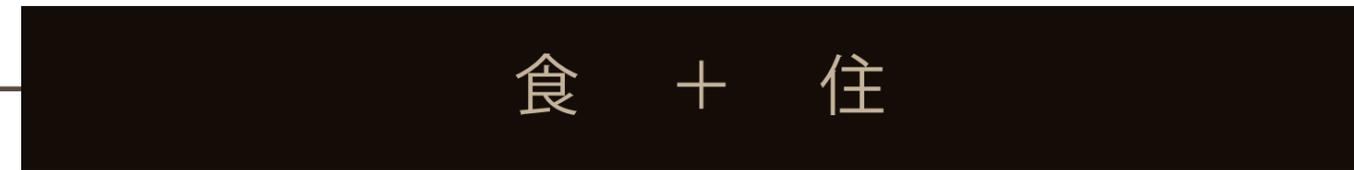
“Core Space” ~the community shop~

×

Caffe



key words-2



theme

ひとつどう街の
“Core Space” ~the community shop~

×

Caffe

concept

“塗装”を楽しむワークショップカフェ

保守的と言われる愛知県の県民性をふまえた上で DIY の中でも家具などに応用が効き、手の出しやすい塗装という行程を楽しむことが出来るカフェ。

店内壁面や椅子などを使用することで参加者にはお店に愛着を持ってもらい、他のカフェとは違った視点で来店の動機を持っていただきます。

またワークショップの度に雰囲気を変える店内は、facebook など気軽に情報を発信できるツールを利用することで、定期的に多くの人々にプロモーションを行うことが出来ます。

食 + 住

お客さんを巻き込んだ継続的なお店づくり

“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

カフェ ペンキ塗りたて。

いつでも塗りたてなぐらいにお店の色合いが変化し、訪れるお客さんを飽きさせないカフェ。

塗りかえ時にはお客さんもいっしょに楽しめるので、

塗りかえを経るたびにお店に関わった人たちが増えていつの間にかみんなのお店に。

ある人はお茶をしながら空間を楽しみ、

ある人は自分が塗りかえたお店を眺めながらお茶を楽しみ、

またある人は塗装の魅力に取り付かれ、趣味がひとつ増えたり。。

このお店をきっかけに賃貸でもこんな自由なお部屋に住みたいという人が増え、

“壁の塗りかえ可”のお部屋が街にたくさんできることで

名古屋の住宅文化にひとつの新しい流れをつくる。

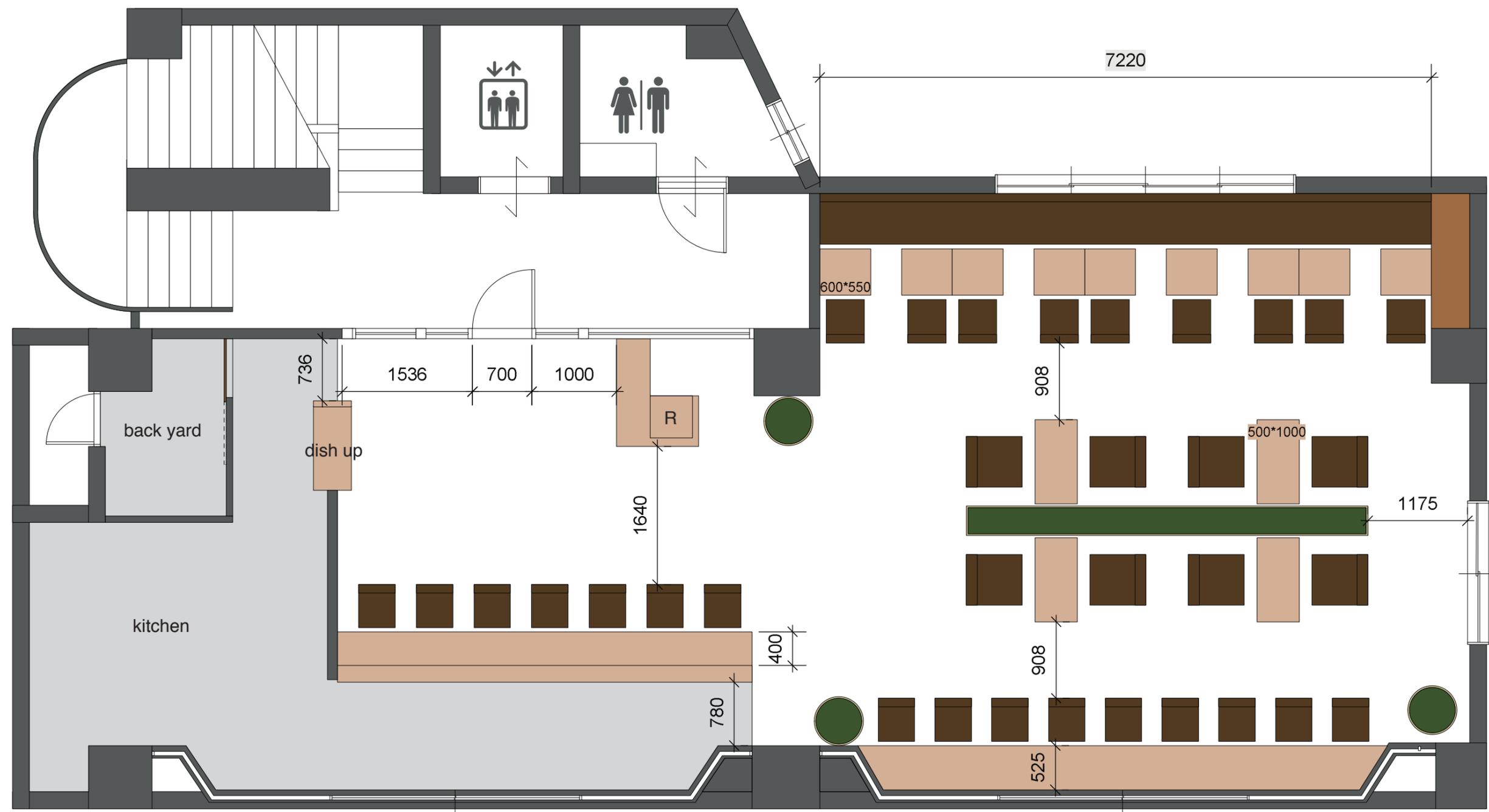
そんなカフェです。

caffe Wet paint

“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

平面 plan



42 席
100 m²
(厨房面積 20 m²)
s = 1/50 (A3)

“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

image_01



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

image_02



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

image_03



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

image_04



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint



“塗装”を楽しむワークショップカフェ

caffe Wet paint

